

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合
信託期間	無期限（設定日：2016年4月22日）
運用方針	投資信託証券等への投資を通じて、世界各国の債券、株式および不動産投資信託（リート）等に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	当ファンドは以下の投資信託証券を主要投資対象とします。 バンガード・米国トータル債券市場 ETF 先進国債券 iシェアーズ 世界国債（除く米国）ETF 先進国債券 バンガード・トータル・インターナショナル債券ETF（米ドルヘッジあり） 先進国債券 iシェアーズ J.P.モルガン・米ドル建てエマージング・マーケット債券ETF 新興国債券 バンガード・米ドル建て新興国政府債券ETF 新興国債券 NEXT FUNDS TOPIX連動型上場投信 国内株式 iシェアーズ MSCI コクサイ ETF 先進国株式（除く日本） バンガード・FTSE・エマージング・マーケットETF 新興国株式 バンガード・リアル エステイト ETF グローバルリート バンガード・グローバル（除く米国）不動産 ETF グローバルリート
当ファンドの運用方法	■世界各国の債券、株式および不動産投資信託（リート）等に投資します。 ■市場のリスク選好状況を定量的に捉え、資産配分を調整することにより、下方リスクを抑制します。 ■債券の一部について、原則として米ドル売り円買いの為替ヘッジを行います。
組入制限	■外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
分配方針	■年1回（原則として毎年4月20日。休業日の場合は翌営業日）決算を行い、分配金額を決定します。 ■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益（評価損益を含みます。）等の範囲内とします。 ■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。 ※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。 ファンドは複利効果による信託財産の成長を優先するため、分配を極力抑制します。（基準価額水準、市況動向等によっては変更する場合があります。）

三井住友・DC世界バランスファンド (動的配分型) 【運用報告書(全体版)】

(2024年4月23日から2025年4月21日まで)

第9期
決算日 2025年4月21日

受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドは投資信託証券等への投資を通じて、世界各国の債券、株式および不動産投資信託（リート）等に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。当期についても、運用方針に沿った運用を行いました。

今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。



三井住友DSアセットマネジメント

〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1

<https://www.smd-am.co.jp>

■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ

お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976

受付時間：午前9時～午後5時(土、日、祝・休日を除く)

三井住友・DC世界バランスファンド（動的配分型）

原則として、各表の数量および金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

■ 最近 5 期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額					投 資券	信 組	託 入 率	純 総 資 産 額
	(分配落)	税 分 配	込 金	期 謄	中 落 率				
5 期 (2021年 4月 20日)	円 10,035		円 0		% 8.6			% 87.3	百万円 1,832
6 期 (2022年 4月 20日)	10,183		0		1.5			89.5	2,222
7 期 (2023年 4月 20日)	10,088		0	△	0.9			92.0	2,642
8 期 (2024年 4月 22日)	11,136		0		10.4			98.7	3,587
9 期 (2025年 4月 21日)	10,752		0	△	3.4			51.3	4,530

※基準価額の騰落率は分配金込み。

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指標がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

■ 当期中の基準価額と市況等の推移

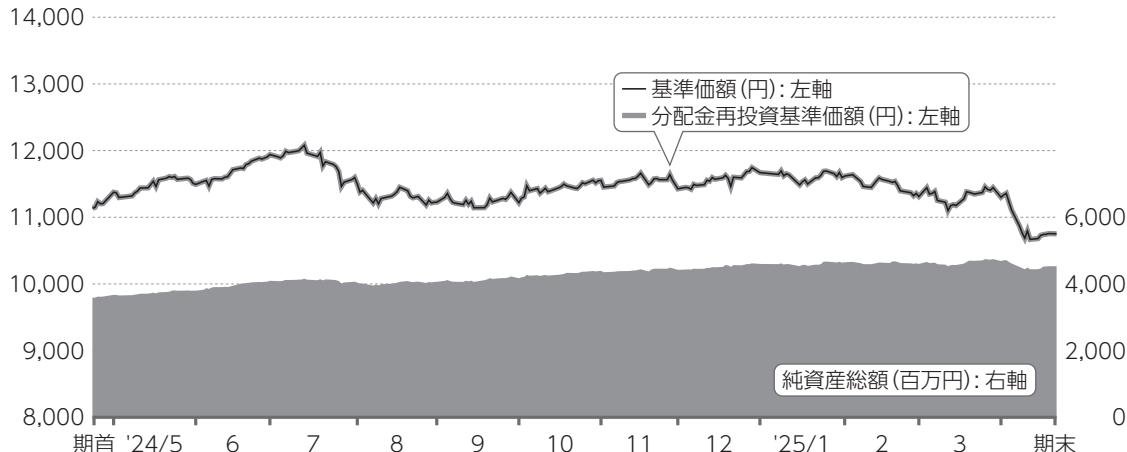
年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		投組	資入	信証	託券
		騰	落				
(期 首) 2024年 4月 22日	円 11,136		% —				% 98.7
4月末	11,375		2.1				98.7
5月末	11,493		3.2				98.1
6月末	11,940		7.2				98.6
7月末	11,499		3.3				95.5
8月末	11,226		0.8				98.3
9月末	11,219		0.7				98.4
10月末	11,553		3.7				98.9
11月末	11,426		2.6				97.6
12月末	11,669		4.8				98.5
2025年 1月末	11,617		4.3				98.2
2月末	11,312		1.6				98.2
3月末	11,300		1.5				98.7
(期 末) 2025年 4月 21日			△3.4				51.3

※騰落率は期首比です。

1 運用経過

基準価額等の推移について(2024年4月23日から2025年4月21日まで)

基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額は、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

期 首	11,136円
期 末	10,752円 (既払分配金0円(税引前))
騰 落 率	-3.4% (分配金再投資ベース)

分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

基準価額の主な変動要因(2024年4月23日から2025年4月21日まで)

投資信託証券等への投資を通じて、世界各国の債券、株式および不動産投資信託(リート)等に投資しました。なお、先進国債券の一部と、新興国債券に投資する投資信託証券に対しては、対円での為替ヘッジを行いましたが、株式、リート部分については、対円での為替ヘッジを行っていません。

上昇要因

- F R B (米連邦準備制度理事会)の利下げなどから、海外金利が低下したこと

下落要因

- 米政権の関税政策への不透明感などから、内外株式市場が下落したこと
- 日銀の利上げなどから、為替が円高となったこと

投資環境について(2024年4月23日から2025年4月21日まで)

外国株式市場は上昇した一方で、国内株式市場は下落しました。債券市場では、国内の長期金利(10年国債利回り)が上昇した一方、米国の長期金利は低下しました。新興国債券市場は上昇しました。グローバルリート市場は上昇しました。為替市場では、米ドルやユーロは円に対して下落しました。

国内株式

国内株式市場は、下落しました。

期初より、米ドル高・円安の進行や米国株高を背景に、上昇基調で推移しました。7月には、日経平均株価が終値ベースで過去最高値をつけるなど高騰した後に大きく下落し、8月は歴史的な乱高下を記録しました。10月以降は、一進一退の展開が続きました。FOMC(米連邦公開市場委員会)での利下げペース鈍化示唆などが株価の上値を抑える一方、円安進行や中国の景気対策期待などが市場を下支えしました。期末には、米トランプ政権の相互関税政策が市場想定を大きく上回るもので世界経済への悪影響が懸念されたことから世界同時株安となり、国内株式市場も下落しました。

国内債券

日本の長期金利は、上昇(債券価格は下落)しました。

期初より、先行きの利上げへの警戒が高

まる中、日銀による国債買い入れの減額方針の決定や追加利上げの実施などを受けて、金利は上昇基調で推移しました。8月には、リスク回避の動きから円高・株安となり、金利は急低下しました。10月以降は、米国金利の上昇や、日銀総裁によるタカ派(インフレ抑制を重視する立場)発言、好調な経済指標などを背景に、金利は大幅に上昇しました。期末には、米政権の関税政策への不透明感や米景気の下振れ懸念などから金利は低下し、それまでの上昇幅を縮めました。

先進国外国株式

外国株式市場は、上昇しました。

米国株式市場は上昇しました。期初より7月にかけて、堅調な経済指標やFRBの利下げ期待から上昇しました。8月は、一時的に下落しましたが、9月の大幅利下げ実施などを好感し、上昇基調となりました。期末にかけては、米国の対外関税政策の実施により、株価は下落しました。しかし、トランプ米大統領が「相互関税」の上乗せ分

三井住友・D C世界バランスファンド（動的配分型）

を一時停止すると発表すると再び上昇するなど、振れ幅の大きな展開となりました。

欧州株式市場は、小幅な上昇となりました。

期初より一進一退の展開となりましたが、2025年1月から2月にかけて、ドイツの財政出動への期待が高まり、株価は大幅に上昇しました。期末には、米国の関税政策の実施などの影響を受けて大きく下落する場面もありました。しかし、その後に米関税措置の一時停止が発表され、株価は反発しました。

先進国外債券

米国の長期金利は、低下しました。

期初から9月にかけては、F R B の利下げ実施により金利は低下しました。その後、1月にかけてトランプ政権の政策によるインフレ再燃への懸念から、金利は上昇しました。期末にかけては、関税政策を巡る景気減速懸念が高まり、金利は低下しました。

欧州(ドイツ)の長期金利は、概ね横ばいとなりました。

ユーロ圏の長期金利は、期半ばまで米金利に概ね連動する動きとなりました。期末にかけては、ウクライナ情勢による防衛費増加やインフラ整備などの財政支出増加が意識され、ユーロ圏の金利が大幅に上昇しました。しかし、その後に米関税政策を巡る不確実性により欧州景気後退リスクへの

懸念が高まり、上昇幅を打ち消しました。

グローバルリート

グローバルリート市場は、上昇しました。

期初から9月にかけては、米国の利下げ転換による米景気に対するソフトランディング(軟着陸)期待が高まり、グローバルリート市場は上昇する展開となりました。その後、インフレ再燃懸念に対する米金利上昇が悪材料となり、下落しました。期末にかけては、トランプ米大統領が「相互関税」の上乗せ分を一時停止すると発表し、再び上昇に転じました。

新興国株式

新興国株式市場は、上昇しました。

期初から10月にかけて、米国の利下げや中国政府の景気刺激策への期待などから、大きく上昇しました。その後、中国景気に対する不透明感の高まりや、米国長期金利の上昇などを嫌気し、1月にかけて下落基調となりました。その後は、米トランプ政権の関税政策を巡る世界経済への悪影響を懸念する見方が強まり、新興国株式市場は大きく下落しました。期末にかけて、米関税一時停止の発表などからリスク資産回帰の動きとなり、上昇に転じました。

新興国債券

新興国債券市場は、上昇しました。

期初から9月にかけて米国の大幅利下げ実施などから米国金利が低下し、スプレッド（米国債に対する上乗せ金利）が縮小したことから、上昇しました。その後は、米関税政策への懸念などがあったものの、総じて一定の範囲内で上下する動きとなりました。

高が進みました。その後は、期末にかけて一進一退となり、期を通じて見るとユーロ安・円高となりました。

為替市場

●米ドル・円

米ドル・円は、米ドル安・円高となりました。

期初には、日米の金利差が意識され、円安基調で推移しました。7月から9月にかけては、日米金利差縮小の見方が強まり、米ドル安・円高が進行しました。期末にかけては、日銀の追加利上げやトランプ政権の関税政策に対する不透明感の高まりなどから、米ドル安・円高となりました。

●ユーロ・円

ユーロ・円は、ユーロ安・円高となりました。

期初には、日欧の金利差が意識され、円安基調で推移しました。7月以降、日銀の利上げや ECB（欧州中央銀行）の利下げも加わり、9月にかけて急速にユーロ安・円

ポートフォリオについて(2024年4月23日から2025年4月21日まで)

投資信託証券等への投資を通じて、世界各国の債券、株式および不動産投資信託(リート)等に投資しました。なお、先進国債券の一部と、新興国債券に投資する投資信託証券に対しては、対円での為替ヘッジを行いましたが、株式、リート部分については、対円での為替ヘッジを行っていません。

●資産配分

資産配分方針の変更時期については以下の通りです。

期初は、定量分析によるリスクオン局面との判断から高変動ポートフォリオ40%、低変動ポートフォリオ60%としました。その後、6月上旬には、リスクオフ(リスク回避)局面への移行期に入ったとの判断から、高変動ポートフォリオ20%、低変動ポートフォリオ80%とし7月下旬まで配分比率を維持しました。

7月下旬には、定量分析によるリスクオフ局面入りしたとの判断から高変動ポートフォリオを0%、低変動ポートフォリオを100%に変更し11月上旬まで配分を維持しました。11月上旬には、リスクオン(リスク選好)局面への移行期入りとの判断から、高変動ポートフォリオ20%、低変動ポートフォリオ80%としました。続いて、11月中旬にはリスクオン局面入りしたとの判断か

ら高変動ポートフォリオ40%、低変動ポートフォリオ60%に変更し、同配分を4月上旬まで維持しました。

4月上旬には、米トランプ政権による関税発表を受け市場が混乱したことを受け、定量判断によりリスクオフ局面への移行期入りとの判断から高変動ポートフォリオを20%、低変動ポートフォリオを80%としました。同じく4月上旬に市場がリスクオフ局面入りしたとの判断から高変動ポートフォリオ0%、低変動ポートフォリオ100%とし期末まで配分を維持しました。

三井住友・DC世界バランスファンド（動的配分型）

ベンチマークとの差異について(2024年4月23日から2025年4月21日まで)

ベンチマークおよび参考指標を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

分配金について(2024年4月23日から2025年4月21日まで)

(単位：円、1万口当たり、税引前)

項目	第9期
当期分配金	0
(対基準価額比率)	(0.00%)
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	2,073

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

※「対基準価額比率」は、「当期分配金」(税引前)の期末基準価額(分配金(税引前)込み)に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

期間の分配は、複利効果による信託財産の成長を優先するため、見送りといたしました。なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

② 今後の運用方針

投資信託証券等への投資を通じて、世界各国の債券、株式および不動産投資信託(リート)等に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。

市場のリスク選好状況を判断する上で使用するリスク態度指数は足元で軟調な推移を継続しており、当面リスクオフ局面が継

続することを示唆しています。従って、当面は、低変動ポートフォリオへの配分を高めに保ち、保守的な運用を続ける見込みです。ただし、米トランプ政権による関税政策が固まれば、再びリスクオフ局面に移行する可能性があると考えております。引き続き、定量判断に基づき機動的にポートフォリオの配分比率を変更してまいります。

③ お知らせ

約款変更について

- 投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、記載変更を行うため、信託約款に所要の変更を行いました。 (適用日：2025年4月1日)

三井住友・DC世界バランスファンド（動的配分型）

1万口当たりの費用明細(2024年4月23日から2025年4月21日まで)

項目	金額	比率	項目の概要
(a) 信託報酬	103円	0.899%	信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数／年日数) 期中の平均基準価額は11,463円です。
(投信会社)	(53)	(0.461)	投信会社:ファンド運用の指図等の対価
(販売会社)	(47)	(0.406)	販売会社:交付運用報告書等各種資料の送付、口座内のファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(4)	(0.033)	受託会社:ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	31	0.271	売買委託手数料=期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料:有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株式)	(-)	(-)	
(先物・オプション)	(-)	(-)	
(投資信託証券)	(31)	(0.271)	
(c) 有価証券取引税	1	0.006	有価証券取引税=期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税:有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(-)	(-)	
(公社債)	(-)	(-)	
(投資信託証券)	(1)	(0.006)	
(d) その他費用	3	0.022	その他費用=期中のその他費用／期中の平均受益権口数 保管費用:海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送回金・資産の移転等に要する費用
(保管費用)	(2)	(0.017)	
(監査費用)	(1)	(0.005)	監査費用:監査法人に支払うファンドの監査費用
(その他の)	(0)	(0.000)	その他の:信託事務の処理等に要するその他費用
合計	137	1.199	

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。



参考情報 総経費率(年率換算)

② 投資先ファンドの費用 0.10%

運用管理費用以外
－%
運用管理費用
0.10%

① 当ファンドの費用 0.92%

その他費用
0.02%
運用管理費用
(投信会社) 0.46%
運用管理費用
(販売会社) 0.41%
運用管理費用
(受託会社) 0.03%

**総経費率
1.03%**

総経費率(① + ②)

1.03%

① 当ファンドの費用の比率

0.92%

投資先ファンドの運用管理費用の比率

0.10%

② 投資先ファンドの運用管理費用以外の比率

－%

※①の各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。

※②の投資先ファンド(当ファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く))の費用は、経費率または信託報酬率で、全額を運用管理費用としています。投資先ファンドへの平均投資比率を勘案して、実質的な費用を計算しています。

※①と②の費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。また、計上された期間が異なる場合があります。

※上記の前提条件で算出している参考値であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した比率に、投資先ファンドの経费率を加えた総経费率(年率)は1.03%です。

三井住友・D C世界バランスファンド（動的配分型）

■ 当期中の売買及び取引の状況（2024年4月23日から2025年4月21日まで）

投資信託証券

		NEXT FUNDS TOPIX連動型上場投信	買付		売付	
			口数	買付額	口数	売付額
国内		口 20,870	千円 59,679	口 322,460	千円 927,428	
国外	アメリカ	iシェアーズ MSCI コクサイ ETF	口 99,616	千アメリカ・ドル 11,684	口 127,033	千アメリカ・ドル 14,555
		iシェアーズ J.P.モルガン・米ドル建てエマージング・マーケット債券ETF	168,733	15,275	33,866	3,054
		バンガード・米国トータル債券市場ETF	210,300	15,341	368,761	27,014
		バンガード・トータル・インターナショナル債券ETF（米ドルヘッジあり）	49,410	2,427	12,212	609
		バンガード・グローバル（除く米国）不動産ETF	127,116	5,191	134,172	5,228
		バンガード・FTSE・エマージング・マーケットETF	247,075	10,894	253,252	10,743
		バンガード・リアル エステイト ETF	4,476	415	7,691	652

※金額は受渡し代金。

※銘柄コードの変更等、管理上の都合により同一銘柄であっても別銘柄として記載されている場合があります。

※国内には、円建ての外国籍投資信託証券を含みます。

■ 利害関係人との取引状況等（2024年4月23日から2025年4月21日まで）

当期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2024年4月23日から2025年4月21日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

三井住友・DC世界バランスファンド（動的配分型）

■組入れ資産の明細（2025年4月21日現在）

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	期首(前期末)	期			末
	口数	口数	評価額	組入比率	
NEXT FUNDS TOPIX連動型上場投信	口 301,590	口 —	千円 —	% —	
合計	301,590	—	—	—	

※組入比率は、純資産総額に対する評価額の比率。

(2) ファンド・オブ・ファンズが組入れた外貨建ファンドの明細

ファンド名	期首(前期末)	期			末
	口数	口数	評価額	組入比率	
		外貨建金額	邦貨換算金額		
(アメリカ)					
iシェアーズ MSCIコクサイETF	口 27,417	口 —	千アメリカ・ドル —	千円 —	% —
iシェアーズ J.P.モルガン・米ドル建て エマージング・マーケット債券ETF	7,699	142,566	12,659	1,788,078	39.5
バンガード・米国トータル債券市場ETF	175,640	17,179	1,248	176,275	3.9
バンガード・トータル・インターナショナル債券ETF（米ドルヘッジあり）	14,405	51,603	2,541	359,026	7.9
バンガード・グローバル（除く米国）不動産ETF	7,056	—	—	—	—
バンガード・FTSE・エマージング・マーケットETF	6,177	—	—	—	—
バンガード・リアル エステイトETF	3,215	—	—	—	—
合計	241,609	211,348	16,449	2,323,380	51.3

※邦貨換算金額は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

※組入比率は、純資産総額に対する評価額の比率。

■投資信託財産の構成

(2025年4月21日現在)

項目	期	末
	評価額	比率
投資	千円	%
資	2,323,380	50.7
証		
券		
コール・ローン等、その他	2,255,696	49.3
投資信託財産総額	4,579,077	100.0

※期末における外貨建資産（2,344,521千円）の投資信託財産総額（4,579,077千円）に対する比率は51.2%です。

※外貨建資産は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=141.24円です。

三井住友・DC世界バランスファンド（動的配分型）

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2025年4月21日現在)

項目	期末
(A) 資産	6,898,723,396円
コール・ローン等	2,220,902,376
投資証券(評価額)	2,323,380,900
未収入金	2,354,440,120
(B) 負債	2,368,019,328
未払金	2,344,423,193
未払解約金	3,138,323
未払信託報酬	20,346,252
その他未払費用	111,560
(C) 純資産総額(A-B)	4,530,704,068
元本	4,213,672,498
次期繰越損益金	317,031,570
(D) 受益権総口数	4,213,672,498口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,752円

※当期における期首元本額3,221,558,776円、期中追加設定元本額1,341,170,798円、期中一部解約元本額349,057,076円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

■ 損益の状況

(自2024年4月23日 至2025年4月21日)

項目	当期
(A) 配当等収益 受取配当金 受取利息	132,618,080円 131,554,791 1,063,289
(B) 有価証券売買損益 売買益 売買損	△297,728,926 339,124,616 △636,853,542
(C) 信託報酬等	△39,406,400
(D) 当期損益金(A+B+C)	△204,517,246
(E) 前期繰越損益金	258,325,787
(F) 追加信託差損益金 (配当等相当額) (売買損益相当額)	263,223,029 (522,067,224) (△258,844,195)
(G) 合計(D+E+F) 次期繰越損益金(G)	317,031,570 317,031,570
追加信託差損益金 (配当等相当額) (売買損益相当額)	263,223,029 (522,067,224) (△258,844,195)
分配準備積立金 繰越損益金	351,537,467 △297,728,926

※有価証券売買損益は期末の評価換算によるものを含みます。

※株式投信の信託報酬等には消費税等相当額が含まれており、公社債投信には内訳の一部に消費税等相当額が含まれています。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※分配金の計算過程は以下の通りです。

	当期
(a) 経費控除後の配当等収益	93,211,680円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	522,067,224
(d) 分配準備積立金	258,325,787
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d) 1万口当たり当期分配対象額	873,604,691 2,073.26
(f) 分配金 1万口当たり分配金	0 0

■ 分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税引前)

当期
0円

上記のほか、投資信託財産の計算に関する規則第58条第1項各号に該当する事項はありません。

三井住友・D C世界バランスファンド（動的配分型）

組入れ投資信託証券の内容（直近決算の情報）

ファンド名	バンガード・米国トータル債券市場 E T F
形態	米国籍外国投資信託（米ドル建て）
運用の基本方針	ベンチマークに連動する投資成果を目指します。
ベンチマーク	ブルームバーグ米国総合浮動調整インデックス
管理費用	年0.03%程度
運用会社	ザ・バンガード・グループ・インク
購入の可否	日本において一般投資者の購入が可能です。

■組入上位銘柄（基準日：2024年12月31日）

	銘 柄 名	ク ー ポ ン	償 還 日	組 入 比 率
1	United States Treasury Note/Bond	4.25%	11/30/2026	0.7%
2	United States Treasury Note/Bond	4.375%	05/15/2034	0.4%
3	United States Treasury Note/Bond	4.5%	11/15/2033	0.4%
4	United States Treasury Note/Bond	1.375%	11/15/2031	0.4%
5	United States Treasury Note/Bond	3.875%	08/15/2033	0.4%
6	United States Treasury Note/Bond	4%	02/15/2034	0.4%
7	United States Treasury Note/Bond	4.125%	10/31/2026	0.4%
8	United States Treasury Note/Bond	1.875%	02/15/2032	0.4%
9	United States Treasury Note/Bond	3.875%	08/15/2034	0.4%
10	United States Treasury Note/Bond	4.625%	02/28/2026	0.4%
全銘柄数			11,277銘柄	

※比率は、純資産総額に対する割合です。

■費用明細（2024年1月1日から2024年12月31日まで）

項 目	比 率
エクスペンスレシオ	0.03%

※エクスペンスレシオとはファンドの運用管理費用およびその他費用をファンドの平均純資産総額で割ったものです。

※上記費用はファンドの純資産から差し引かれています。

三井住友・DC世界バランスファンド（動的配分型）

ファンド名	バンガード・トータル・インターナショナル債券ETF（米ドルヘッジあり）
形態	米国籍外国投資信託（米ドル建て）
運用の基本方針	ベンチマークに連動する投資成果を目指します。
ベンチマーク	ブルームバーグ・グローバル総合（米ドル除く）浮動調整RIC基準インデックス（米ドルヘッジベース）
管理費用	年0.07%程度
運用会社	ザ・バンガード・グループ・インク
購入の可否	日本において一般投資者の購入が可能です。

■組入上位銘柄（基準日：2024年9月30日）

	銘柄名	クーポン	償還日	組入比率
1	Bundesschatzanweisungen	2.9%	06/18/2026	0.5%
2	United Kingdom Gilt	4.125%	01/29/2027	0.4%
3	French Republic Government Bond OAT	2.75%	02/25/2029	0.4%
4	United Kingdom Gilt	3.5%	10/22/2025	0.3%
5	French Republic Government Bond OAT	1.25%	05/25/2038	0.3%
6	Spain Government Bond	0%	01/31/2026	0.3%
7	French Republic Government Bond OAT	0%	11/25/2031	0.3%
8	Spain Government Bond	0%	01/31/2028	0.3%
9	Italy Buoni Poliennali Del Tesoro	3.5%	02/15/2031	0.3%
10	French Republic Government Bond OAT	0%	11/25/2030	0.3%
全銘柄数		6,698銘柄		

※比率は、純資産総額に対する割合です。

■費用明細（2023年11月1日から2024年10月31日まで）

項目	比率
エクスペンスレシオ	0.07%

※エクスペンスレシオとはファンドの運用管理費用およびその他費用をファンドの平均純資産総額で割ったものです。

※上記費用はファンドの純資産から差し引かれています。

三井住友・DC世界バランスファンド（動的配分型）

ファンド名	i シェアーズ J.P. モルガン・米ドル建てエマージング・マーケット債券 E T F
形態	米国籍外国投資信託（米ドル建て）
運用の基本方針	ベンチマークに連動する投資成果を目指します。
ベンチマーク	J.P. モルガン E M B I グローバル・コア・インデックス
管理費用	年0.39%程度
運用会社	ブラックロック・ファンド・アドバイザーズ
購入の可否	日本において一般投資者の購入が可能です。

■ 組入上位銘柄（基準日：2024年9月30日）

	銘柄名	比率
1	ARGENTINA REPUBLIC OF GOVERNMENT	0.7%
2	ARGENTINA REPUBLIC OF GOVERNMENT	0.7%
3	KUWAIT STATE OF (GOVERNMENT) MTN RegS	0.6%
4	ECUADOR REPUBLIC OF (GOVERNMENT) RegS	0.6%
5	URUGUAY (ORIENTAL REPUBLIC OF)	0.6%
6	BLK CSH FND TREASURY SL AGENCY	0.5%
7	QATAR (STATE OF) RegS	0.5%
8	POLAND (REPUBLIC OF)	0.5%
9	QATAR (STATE OF) RegS	0.5%
10	ARGENTINA REPUBLIC OF GOVERNMENT	0.4%
全銘柄数		634銘柄

※比率は、純資産総額に対する割合です。

■ 費用明細（2023年11月1日から2024年10月31日まで）

項目	比率
エクスペンスレシオ	0.39%

※エクスペンスレシオとはファンドの運用管理費用およびその他費用をファンドの平均純資産総額で割ったものです。

※上記費用はファンドの純資産から差し引かれています。